

北海道支部

2021年

☆6月19日（土）第195回研究談話会（Zoomによるオンライン開催）

題目：「ポール・オースターの主要作品における主題の発展に関する分析」

発表：大田原裕紀（北海道大学大学院）

司会：本城誠二（北海学園大学元教授）

☆6月21日（月）～6月27日（日）

総会（メール・郵送による開催）

☆12月18日（土）第31回日本アメリカ文学会北海道支部大会（藤女子大学・対面およびZoomによるハイブリッド開催）

特別講演

演題：「今なぜ奴隷制文学なのか——“America, disrupted”」

講師：藤平育子（中央大学元教授）

司会：本城誠二（北海学園大学元教授）

シンポジウム

タイトル：「南部白人女性作家たちの小説を読む——人種・エスニシティの観点から」

司会・講師：本村浩二（駒澤大学）

「“Who is Troy Flavin?” —— Troy 表象から見る *Delta Wedding* (1946) の世界」

講師：岡本晃幸（藤女子大学）

「共感の限界—— *The Awakening* (1899) における人種的他者」

講師：宮澤優樹（金沢大学）

「Flannery O'Connor における場所の感覚——人種から考える」

コメンテータ：松井美穂（札幌市立大学）

2022年

☆3月31日『北海道アメリカ文学』第38号発行

【特別寄稿】

「今なぜ奴隷制文学なのか——“America, Disrupted”」
藤平育子

【特集】「南部白人女性作家たちの小説を読む——人種・エスニシティの観点から」

はしがき 本村浩二

「共感の限界—— *The Awakening* (1899) における人種的他者」 岡本晃幸

「“Who is Troy Flavin?” —— Troy 表象から見る『デルタ・ウエディング』の世界」 本村浩二

「Flannery O'Connor における場所の感覚——人種から考える」
宮澤優樹

【新刊書紹介】

研究書

○野村幸輝著

『ティム・オブライエン——ベトナム戦争・トラウマ・平和文学』
小古間甚一

東北支部

2021年

☆4月21日（水）～26日（月）2021年度総会（メール審議）

☆6月19日（土）第1回役員会・6月例会（TKP 仙台西口ビジネスセンター）

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため役員会と例会はハイブリッド型で実施

研究発表

清水菜穂（宮城学院女子大学）

「Adrienne Kennedyの「劇中劇」の手法——*The Alexander Plays*の四部作をめぐって」

☆12月11日（土）第2回役員会・12月例会（TKP 仙台西口ビジネスセンター）

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため役員会と例会はハイブリッド型で実施

シンポジウム：「コロナ禍で読み直すアメリカ文学」

司会・講師：辻 和彦氏（近畿大学）

「ニューヨークの幽霊達——マーク・トウェインと非日常」

講師：浜本隆三氏（甲南大学）

「コロナ禍に読む『ウォールデン』の空気」

講師：江口真規氏（筑波大学）

「境界としての屠殺場——映画 *Killer of Sheep* を中心に」

講師：中山悟視氏（尚絅学院大学）

「ヴォネガットの SF 的想像力と非日常的な日常」

2022年

☆3月26日（土）第3回役員会・3月例会（オンライン開催）

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため役員会と例会はオンラインで実施

研究発表1

細谷 等（明星大学）

「ニューソート小説としての *No. 44, The Mysterious Stranger*」

研究発表2

高橋 愛（岩手大学）

「キャサリン・ビーチャ——『家政学論』に見る女性性」

研究発表3

藤倉ひとみ（順天堂大学）

「カミングアウトの先に——Paul Monette の *Borrowed Time* を読む」

☆3月31日（木）機関誌発行『東北アメリカ文学研究』第45号

（研究論文4，書評2）

☆4月23日（土）～28日（木）2022年度総会（メール審議）

東京支部

2021年

☆4月例会 2021年4月10日(土)午後2時よりオンライン(Zoom)で開催

特別講演:作家生命論の起原——アメリカ文学思想史の視点から

講師:巽 孝之(慶應義塾大学名誉教授)

司会:難波雅紀(実践女子大学)

★特別講演終了後、支部総会を開催

☆5月例会 2021年5月8日(土)午後1時30分よりオンライン(Zoom)で開催

研究発表:アメリカ西部の文学的磁力

講師:結城正美(青山学院大学)

司会:波戸岡景太(明治大学)

分科会:

近代散文:*The Portrait of a Lady*にみる無-限定性について

加茂秀隆(一橋大学(非))

現代散文:「名誉」と「優しさ」——Eudora Welty, *Delta Wedding*における南部プランテーション社会の規範

杉浦 牧(東京大学(院))

詩:ロバート・フロストのメタポエムズ

笠原一郎(東京工業大学(非))

演劇・表象:リエナクトメントの人種主義技法——『国民の創生』とウォーグラフィの血脈

鈴木俊弘(桜美林大学(非))

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆6月例会 2021年6月26日(土)午後1時30分よりオンライン(Zoom)で開催

シンポジウム:戯曲研究と翻訳上演

司会:佐藤里野(東洋大学)

講師:小田島恒志(早稲田大学)

講師:黒田絵美子(中央大学)

講師:相原直美(千葉工業大学)

分科会:

近代散文:“Life Without Principle”におけるThoreauの社会批判と死生観との関係性をめぐって

西田梨紗(大正大学(院)単位取得満期退学)

現代散文:「東」への帰還——「キリマンジャロの雪」における死のイメージ

横山 晃(立教大学)

詩:MelvilleとGlobal South——“At the

Hostelry”を中心に

佐久間みかよ(学習院女子大学)

演劇・表象:『ハミルトン』——ブロードウェイでよみがえる異端の建国の父

谷佐保子(早稲田大学(非))

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆9月例会 2021年9月18日(土)午後1時30分よりオンライン(Zoom)で開催

研究発表:亡霊のソーシャリズム——メルヴィルとホイットマンの伝統

講師:貞廣真紀(明治学院大学)

司会:千石英世(立教大学(名))

分科会:

近代散文:未だ口にされない証言——*Wieland*における司法的無意識

板垣真任(日本工業大学(非))

現代散文:“This Is Still Good Country”: Ambivalent White Masculinity in Cormac McCarthy's *All the Pretty Horses*

Rong Qin(東京工業大学(院))

詩:“To a Locomotive in Winter”を再読する——身体拡張としての蒸気機関車

川崎浩太郎(駒澤大学)

演劇・表象:「有色人種」の構築とそのパラドックス——世紀転換期のアメリカ映画における人種イデオロギーの表象

福西恵子(ハワイ大学(院))

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆11月例会 2021年11月13日(土)午後1時30分よりオンライン(Zoom)で開催

研究発表:ウィラ・キャザーと語りの哀悼可能性

講師:山本洋平(明治大学)

司会:新井景子(武蔵大学)

分科会:

近代散文:Harriet Jacobsの*Incidents in the Life of a Slave Girl*における海の表象

名和 玲(東京理科大学(非))

現代散文:花束と物質主義——『教授の家』における絵画の機能

相木裕史(津田塾大学)

詩:ポーの「視線恐怖」の表と裏——“To Helen”を“The Tell-Tale Heart”との比較で読む

宇佐教子(東京都立大学(非))

演劇・表象:演劇とラジオが交わる時——ミュージカル*Billion Dollar Baby*(1945)の号

外場面に着目して

辻佐保子（早稲田大学）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆12月例会 2021年12月11日（土）午後2時よりオンライン（Zoom）で開催

シンポジウム：国民文学の終焉——アメリカ文学の（再）世界化、世界の脱アメリカ化から考える

司会・講師：有光道生（慶應義塾大学）

講師：吉田恭子（立命館大学）

講師：都甲幸治（早稲田大学）

講師：温 又柔（小説家）

2022年

☆1月例会 2022年1月22日（土）午後1時30分よりオンライン（Zoom）で開催

研究発表：エズヴァーシティの内から／外から——パウンド、ダンカン、ヘジニアン、パーマーを読む

講師：山内功一郎（早稲田大学）

司会：遠藤朋之（和光大学）

分科会：

近代散文：眺めのいい墓地——*The Blithedale Romance* におけるアメリカン・ピクチャレスク

石川志野（慶應義塾大学（院））

現代散文：脱中心化、新自由主義、ユートピア——*Zone One* におけるポスト・ポストモダニズムの考察

森下二郎（早稲田大学（院））

詩：エドワード・テイラーの詩作品における機織りのイメージの展開——「最後の演説」と「家政」を中心に

皆川祐太（東洋大学（非））

演劇・表象：あなたの目は騙されている——1990年代アメリカ映画の一傾向

青木耕平（東京都立大学（非））

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆3月例会 2022年3月26日（土）午後1時30分よりオンライン（Zoom）で開催

研究発表：荒野のアルケミスト——ジョン・ウィンスロップ・ジュニアと錬金術のニューイングランド

講師：佐藤憲一（東京理科大学）

司会：佐藤光重（慶應義塾大学）

分科会：

近代散文：“It Is Not His Fault”——Horatio Alger Jr., *Phil the Fiddler* にみる福祉国家の萌芽

五井結基（白百合女子大学（院））

現代散文：投壘通信の系譜——Paul Auster の *In the Country of Last Things* における証言の問題

下條恵子（上智大学）

詩：フィリス・ホイトリーの処方箋

——療養巡遊詩篇における環大西洋的政治学

小泉由美子（慶應義塾大学（非））

演劇・表象：Betty Shamieh 作 *Roar* にみる出自詐称の代償

有馬弥子（恵泉女学園大学）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

中部支部

2021年

☆6月例会

6月19日（土）オンライン開催

研究発表

1. 梶原克教（愛知県立大学）／司会：平沼公子（名古屋短期大学）
「ハーレム・ルネサンスにおける身体の位置」
2. 山本伸（東海学園大学）／司会：杉浦清文（中京大学）
「突き抜ける母性と生と死の融合——エドウィージ・ダンティカの世界」

★例会終了後に運営委員会を開催。

☆9月例会

9月18日（土）オンライン開催

研究発表

1. 平沼公子（名古屋短期大学）／司会：柳楽有里（岐阜市立女子短期大学）
「1950年代はいかに語れるのか——Walter Mosley の *A Red Death* における冷戦下の人種共闘」
2. 宮澤優樹（金沢大学）／司会：水口陽子（大阪樟蔭女子大学）
「Edith Wharton の *Ethan Frome* における曖昧性——Turner の絵画を出発点に」

★例会終了後に運営委員会を開催。

☆11月例会

11月20日（土）オンライン開催

研究発表

1. 高橋綾子（兵庫県立大学）／司会：長畑明利（名古屋大学）
「ルイーゼ・グリュック『野生のアイリス』における語り」
2. 社河内友里（豊橋技術科学大学）／司会：赤尾千波（富山大学）
「ビート文化の超越状態——マーベル・コミックスにおけるビートニク表象の変遷」

★例会終了後に運営委員会を開催。

☆12月ワークショップ（読書会）

12月11日（土）オンライン開催

テキスト：*Certain Women*（邦題『ライフ・ゴーズ・オン 彼女たちの選択』）Kelly Reichardt 監督

司会：川本 徹（名古屋市立大学）

講師：水口陽子（大阪樟蔭女子大学）

講師：富塚亮平（慶応義塾大学（非））

2022年

☆2月例会

2月19日（土）オンライン開催

研究発表

1. 小倉永慈（名古屋外国語大学）／司会：林日佳理（岐阜大学）
「ポスト・ポストモダニズムを批判する——David Foster Wallace の *Infinite Jest* をめぐる、新しい『大きな物語』創出」
2. 朴 珣英（金城学院大学）／司会：山口善成（金沢大学）
「フレデリック・ダグラスと写真——自己像の永遠化に向けて」

★例会前に役員会を開催。

★例会終了後に運営委員会を開催。

☆第38回 支部大会

4月23日（土）オンライン開催

研究発表

1. 林 姿穂（京都外国語大学）／司会：高橋綾子（兵庫県立大学）
「20世紀初頭における優生学運動とシャーロット・パーキンズ・ギルマンの『ハーランド』」
2. 森あおい（明治学院大学）／司会：山本 伸（東海学園大学）
「文学・アートを通して語り続けるトニ・モリスン」

シンポジウム

「文学にみる Mixed Race」

司会・講師：本田安都子（福井大学）

講師：小池理恵（常葉大学）

講師：室 淳子（名古屋外国語大学）

講師：社河内友里（豊橋技術科学大学）

特別講演

「〈ハウス〉のパラダイムシフト——空襲と原爆の時代のドラマ」

講師：竹谷悦子（筑波大学）

司会：千葉洋平（中京大学）

★研究発表後に総会を開催。

関西支部

2021年

☆7月例会 7月10日(土)

Zoomにてオンライン開催

ミニシンポジウム「非日常性のアメリカ文学」

(ASLE-Japan/文学・環境学会と合同開催)

司会 浜本隆三(甲南大学)

講師 林千恵子(京都工芸繊維大学)

「北米先住民作家が描く「非日常」の物語

——Velma Wallis, *Two Old Women* をもとに」

講師 新関芳生(関西学院大学)

「遊びをせんとや生まれけむ——Mark Twain

における「ごっこ遊び」としての王政」

講師 坂根隆広(関西学院大学)

「痕跡としての日常——『グレート・ギャツビー

ー』におけるマートル・ウィルソンについて」

講師 中山悟視(尚絅学院大学)

「“normal at last” ——Kurt Vonnegut, *Time-quake* における既視感の(非)日常」

★例会前に運営委員会を開催

☆『関西アメリカ文学』編集委員会 7月17日(土)

Zoomにてオンライン開催

☆運営委員会 9月12日(日)

Zoomにてオンライン開催

☆11月例会 11月6日(土)

Zoomにてオンライン開催

研究発表

1. 「敗北を握りしめて——Don DeLillo の *Underworld* における自己内省の触媒としての野球」

発表者 中村瑞樹(大阪大学・院)

司会 木原善彦(大阪大学)

2. 「*Pierre* における音、音楽とノイズ」

発表者 真田 満(龍谷大学・非)

司会 野田 明(三重大学)

3. 「エマソンの *Nature* の曖昧性」

発表者 小田敦子(三重大学)

司会 藤田佳子(奈良女子大学名誉教授)

★例会前に運営委員会を開催

☆支部大会 12月4日(土)

Zoomにてオンライン開催

フォーラム「アメリカ文学における触覚的身体の変容——「接触」と「接続」をめぐる」

司会・講師 高村峰生(関西学院大学)

「マーガレット・アトウッドの『侍女の物語』

における触覚的身体について」

講師 小林久美子(京都大学)

「『響きと怒り』における接続」

講師 秋元孝文(甲南大学)

「喪失を型から起こす——*Great House* に見るホロコースト三世の表現」

講師 矢倉喬士(西南学院大学)

「9.11を軽視せよ——トマス・ピンチョンの『ブリーディング・エッジ』が描くジェントリフィケーションについて」

2022年

☆1月例会 1月8日(土)

Zoomにてオンライン開催

若手シンポジウム「20世紀アメリカ文学のローカル・カラー」

司会・講師 柳楽有里(兵庫県立大学)

「ドロシー・ウェストの *The Wedding* における壁を乗り越える愛」

講師 長尾麻由季(愛知大学)

「『騎士の島』の意匠——トニ・モリスンの *Tar Baby* における転置と遅延」

講師 黒木優介(関西学院大学・院)

「ニューオーリンズと火事——*A Streetcar Named Desire* における火のイメージ」

講師 土岐光一(京都府立大学・院)

「『南』のトポス——*Breakfast at Tiffany's* における空間の浸透」

★例会前に運営委員会を開催

☆運営委員会(臨時) 3月14日(月)～3月18日(金)
メール稟議

☆運営委員会 4月9日(土)

Zoomにてオンライン開催

☆支部総会 5月7日(土)

Zoomにてオンライン開催

講演

講師 林以知郎(同志社大学名誉教授)

演題 「終活するナッティ・バンポー——皮脚絆連作の終わりかた」

司会 白川恵子(同志社大学)

★総会前に運営委員会を開催

☆『関西アメリカ文学』編集委員会 5月14日(土)

Zoomにてオンライン開催

☆6月例会 6月11日(土)

会場 神戸女学院大学 文学館2階 L-28教室
研究発表

1. 「Melville とその虫——“The Apple-Tree Table” が描く文学的天才の運命」
発表者 天野貴史（摂南大学）
司 会 西谷拓哉（神戸大学）
2. 「『ライフ』・イズ・ビューティフル——マーガレット・パーク＝ホワイトとニューデールの文化学」
発表者 塚田幸光（関西学院大学）
司 会 小林久美子（京都大学）

★例会前に運営委員会を開催

中・四国支部

2021年

☆『中・四国アメリカ文学研究』第57号発行（6月1日）

☆『中・四国アメリカ文学会会報』第60号発行（6月1日）

☆中・四国アメリカ文学会評議委員会

開催日 6月12日（土）

会 場 オンライン Zoom

☆中・四国アメリカ文学会第49回大会

開催日 2021年6月12日（土）

会 場 オンライン Zoom

研究発表

1. 風早由佳（岡山県立大学）
「語りかける世界 Li-Young Lee の *Behind My Eyes* における対話の機能」
司会 松永京子（広島大学）
2. 渡邊真理香（北九州市立大学）
「Nina Revoyr 作品における「水」表象」
3. 遠藤 緑（鳥取短期大学）
「日系アメリカ人二世作家の描く母と娘の物語——“Seventeen Syllables” と “And the Soul Shall Dance” における母娘」
司会 吉田美津（松山大学（名））
4. 真野 剛（海上保安大学校）
「国立公園都市計画のハイブリディティ構造——John Muir の自然論から現代生活を考える」

特別講演

講師 上西哲雄氏（東京工業大学（名））

演題 「キリスト教とアメリカ文学」

司会 前田一平（鳴門教育大学）

シンポジウム（15:30～18:00）

『21世紀から読み直すアメリカ自然主義文学』

司会：増崎 恒（追手門学院大学）

1. 講師 増崎 恒
「Stephen Crane, ニューヨーク市, 外国（人・語）, 国際感覚——アメリカ自然主義文学における「環境」の力を再考する」
2. 講師 菅井大地（松山大学）
「*The Octopus* における超自然的“FORCE”——人新世の文学としてのアメリカ自然主義文学」
3. 講師 劉 鵬（遼寧对外経貿学院（中国））

「London 自身の自然主義——その現代社会における意味」

場所 オンライン Zoom

4. 講師 森 孝晴 (鹿児島国際大学)

「Jack London が現代に示唆するもの」

総会

☆ Newsletter 第102号発行 (11月1日)

☆支部運営委員会

開催日 12月4日 (土)

会 場 広島経済大学 立町キャンパス

☆冬季大会

開催日 12月4日 (土) 15:00~17:40

場 所 オンライン Zoom

研究発表

1. 藤沢徹也 (広島商船高等専門学校)

「古い指輪」から見えるホーソーンの読者に対する想い

司会 城戸光世 (広島大学)

2. 谷岡知美 (広島工業大学)

文学と発話行為論——『吠える』裁判 (1957) におけることばの猥褻性

司会 菅井大地 (松山大学)

3. 藤本幸伸 (山口大学)

“get off, Queequeg, you are heavy, it's grinding the face of the poor” を訳す? ——an intellectual chowder としての『白鯨』翻訳

司会 辻 祥子 (松山大学)

2022年

☆第2回 支部編集委員会 (論文審査)

日時 2022年2月3日 (木)

場所 オンライン Zoom

☆第3回 (臨時) 支部編集委員会 (投稿者からの質問への対応)

日時 2022年2月5日 (土)・6日 (日)

場所 メール会議

☆第4回 支部編集委員会 (論文審査, 投稿規定の見直し)

日時 2022年3月5日 (土)

場所 オンライン Zoom

☆第5回 支部編集委員会 (論文審査, 投稿規定の見直し)

日時 2022年3月17日 (木)

九州支部

2021年

☆9月例会

9月4日(土) オンライン会議

研究発表1

吉村 幸(九州大学博士後期課程)

「*Intruder in the Dust* とアメリカ合衆国の人種主義真犯人——Crawford Gowrie が暴く Faulkner の南部への執着」

司会：永尾 悟(熊本大学)

研究発表2

毛利優花(西南学院大学博士後期課程)

「フィリップ・K・ディックの『パーマー・エルドリッチの三つの聖痕』考察——薬物による幻覚作用, アイデンティティの危機, テクノロジーが持つ共感性を考える」

司会：新田よしみ(福岡大学)

研究発表3

藤原まみ(山口大学)

「Jack London と中田由松」

司会：森 考晴(鹿児島国際大学)

☆日本英文学会第74回九州支部大会(アメリカ文学部門)

10月16日(土)ー17日(日) オンライン会議

招待発表

大園 弘(九州国際大学)

「Capote 著 *Summer Crossing* の素材と主題——Capote の諸作品との関係を手がかりとして」

司会：高橋 勤(九州大学)

シンポジウム「都市と連帯——文学的ニューヨークの探究」

司会・講師 藤野功一(西南学院大学)

講師 永尾 悟(熊本大学)

講師 舌津智之(立教大学)

講師 岡本太助(大阪大学)

特別講演

沼田真祐(作家)

「孤立と連帯」

司会・聞き手：藤野功一(西南学院大学)

聞き手：ユスチナ・W・カシャ(西南学院大学)

☆特別記念講演会(ガリオア・フルブライト九州同窓会との共催)

11月5日(金) オンライン会議

渡辺 靖(慶應義塾大学)

「アメリカ社会の分断の行方」

☆12月例会

研究発表

鈴木一生(九州工業大学)

「テネシー・ウィリアムズと色彩——『ガラスの動物園』に残された空白への考察」

司会：坂井 隆(福岡大学)

特別講演

講師 外岡尚美(青山学院大学)

「アメリカ演劇における〈主体〉の不可能性と身体」

司会：坂井 隆(福岡大学)

2022年

☆役員会

3月5日(土) オンライン会議

☆九州アメリカ文学会第67回大会

5月14日(土) オンライン会議

研究発表1

森田 司(九州大学博士後期課程)

「父との和解——晩年作品から再考するヘミングウェイと父親」

司会：内田水生(西南学院大学(非))

研究発表2

松下紗耶(鹿児島女子短期大学)

「黒人・女性・姉妹愛——*Plum Bun* における女性の連帯」

司会：竹内勝徳(鹿児島大学)

シンポジウム「アメリカ文学と民族性」

司会・講師 長岡真吾(福岡女子大学)

講師 大島由起子(福岡大学)

講師 永尾 悟(熊本大学)

講師 渡邊真理香(北九州市立大学)

特別講演

諏訪部浩一(東京大学)

「『薄れゆく境界線』をめぐって」

司会：高橋 勤(九州大学)